

花吹雪御存じ七人男（1954）

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 91分

初公開日 1954/03/24

【解説】

旗一平の原作を「或る女」の八住利雄が脚色し「花祭底抜け千一夜」の斎藤寅次郎が監督した、時代考証を無視した何でもありなコメディ時代劇。花菱アチャコや伴淳三郎などバラエティ豊かなキャストが顔をそろえている。

飲み屋〈かっぱ〉に勤める男の娘であるお菊は、あぶな絵を売って生計を補う父に好きな絵を描いてほしいと、一生懸命に働いている。店には長屋に住む法界坊、蝙蝠安、鋳かけ松、小猿七之助、髪結新三、岩井寿美之丞と与三郎が毎晩のように飲みに来ていた。「経済安全会」なる団体を組織して人々から金を巻き上げている兵蔵は、長屋を買い取ってその一帯を赤線地帯にしようと計画。居酒屋で働くお富は武家の息子で流れ者の与三郎と結ばれるが、二人は借金が原因で兵蔵に捕まってしまう。

【クレジット】

監督 斎藤寅次郎

原作 旗一平

脚本 八住利雄

撮影 服部幹夫

出演 花菱アチャコ

伴淳三郎

川田晴久

堺駿二

中村錦之助